

会議録

会議の名称	令和元年度第5回野洲市子育て支援会議
開催日時	令和2年1月24日(金) 午前10時から午前11時半まで
開催場所	野洲市役所 本館3階 第1委員会室
【出席者の氏名等】 ・野洲市子育て支援会議委員 (◎：会長 ○：副会長) ※順不同、欠席1名(樽茶絹子委員) - 森嶋利成委員、深尾望委員、湊景子委員、橘岡委員、岡本恵利華委員、山口桂子委員、○水谷威彦委員、◎前川頼子委員、八木芳良委員、安田亮委員 ・事務局側出席者 - 市：山仲市長、赤坂健康福祉部政策監、田中健康福祉部次長 - こども課：井狩課長、鎌田課長補佐、宮崎課長補佐、西村課長補佐、中野受託業者：㈱ぎょうせい 中井主任研究員 ・傍聴者1名	
【会議の目的・主旨】 ・議事 (1) 野洲市子育て支援会議会長・副会長の選出について【資料3】 【結果】会長に前川頼子委員、副会長に水谷威彦委員が選出され、就任。 (2) 第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画(案)の最終確定について【資料3、資料3-①、資料3-②】 【結果】資料3-①、資料3-②をもとに事務局から説明を行った後、委員からの質疑はなく、今回提示した第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画(案)を最終確定とし、承認。 (3) 第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画(案)の概要版について【資料4】 【結果】資料4をもとに事務局から説明を行ったところ、委員から意見があったことから、それを踏まえて事務局にて仕上げる事となった。意見については以下のとおり。 質問①：見やすく作成されており、わかりやすいと思う。ただ、1ページの計画期間の図表下にある「必要に応じて見直し」の文言は改行せずに一行での表記がよいのではないかと。また、全体的にイラストなどを載せると、柔らかく親しみやすくなるのでは。 回答①：1ページの計画期間の図表下の表記は、ご指摘を踏まえて検討する。また、イラストを載せるなどして親しみやすくなるよう工夫を図りたい。	

報告事項の前に事務局より今後の予定について、次のとおり説明した。

このたび承認いただいた計画（案）は2月の市議会定例会へ提案し、議会で審議され、議決いただけたなら、令和2年4月1日から発効となる。計画では待機児童の解消や施設の整備を図っていくことになるが、実行する際にはこの子育て支援会議で議論いただきながら進めていく。パブリックコメントでは、要件に具備しないその他意見として、幼稚園に関するご意見（幼稚園を残してほしい、幼稚園かこども園か保育園を選ぶようにしてほしい旨の意見）があったが、幼稚園の在籍児童数は年々減少傾向、保育園は増加傾向であり、また、少子化の見通しの中で、今後はどのような施設の形態が望ましいのか、議論をさせていただきながら計画を推進してまいりたい。

・ 報告事項

（1）篠原第二こどもの家の開所について【資料5】

→資料5に基づき、事務局より説明を行った。質疑応答については以下のとおり。

質問①：篠原第一こどもの家と篠原第二こどもの家とは、室内でつながっているのか。

回答①：壁を隔てて、ドアを通じて行き来できるようになっている。

質問②：篠原第一こどもの家と篠原第二こどもの家で区切る理由は何か。

回答②：こどもの家は1クラス40名程度を一つの支援単位としていることから、支援単位毎に区切るものである。

・ その他

→意見交換を行い、内容は以下のとおり。

意見①：パブリックコメントの要件に具備しないその他意見として寄せられた幼稚園に関するご意見については、幼稚園に対して求めている意見者の意図を考える必要がある。その意図をくみ取るような対応も必要ではないか。保護者の園との関わり方の質が、保育園、幼稚園、こども園ではそれぞれ違う。保護者会の関わり方、PTAの関わり方もそれぞれ違う。そこを行政にはご理解されたい。PTAは子育ての大切さ、親としての学びの大切さといった意識を醸成する組織であるので、そうしたことも考えていただきたい。

意見②：保育園では、待機児童をどのように対処していくかが大きな問題である。幼稚園で少しでも長い時間預かるようになればよいと思う。子育て中の若い人たちが働ける環境づくりが大切である。

会 長：幼稚園を残してほしいという保護者の意図をくみ取ることは大事である。保護者が子どもに寄り添いたいというのは、幼稚園でも保育園でも同じであると思う。こども園でも幼稚園教育要領・保育所保育指針により幼稚園機能、保育園機能は果たしている。そここのところを保護者にご理解いただきながら、保護者

が安心して預けることができる園づくりができればと思う。

事務局：今回の計画では、幼稚園は定員を減らし、保育園は増やすものとなっており、大きな選択肢としてこども園化にするという考え方はある。実際のところ、幼稚園とこども園の幼稚園部分との相違については、熟知されていない部分もあるのではと感じる。3歳以上児においては、幼稚園教育要領・保育所保育指針により小学校につなげていく目指すべき姿というところは統一化されている。よって、幼稚園であろうと保育園であろうとも同じような教育、保育で小学校につなげているところである。また、保護者会については、こども園においても、読み聞かせサークルの活動など保護者間の連携がなされているところである。このような状況であることを知っていただきながら、ご意見も伺いつつ、計画を進めさせてもらえればと考える。

会長：今回の会議が令和元年度の最後の会議ということで、これまでの各委員のご協力に対して御礼申し上げる。年度による区切りはあるが、引き続き各委員にはご支援とご協力をお願い申し上げます。

以上

【提出された主な資料等】

- ・資料1：野洲市子育て支援会議名簿（第4期）
- ・資料2：野洲市子育て支援会議条例及び規則
- ・資料3：第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画（案）
- ・資料3－①：第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画（案）に係るパブリックコメントの結果について
- ・資料3－②：第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画（案）に係る県意見について
- ・資料4：第二期野洲市子ども・子育て支援事業計画（案）概要版
- ・資料5：篠原第二こどもの家の開所について